

【基本方針】

「多様なプログラムで、満足感のあるサービスの提供をする」

【年間目標】

- ① 感染症対策を徹底し、災害発生時にも事業運営を継続できる体制を作る
- ② ヒヤリハットの積み重ねにより事故の予見を行い、事故数の低減を目指す
- ③ 個々のニーズにあうプログラムを実施し、ご利用者の心身機能向上に努める
- ④ 稼働 77.0%以上を目指す
- ⑤ 職員の介護福祉士取得を推奨すると共に勉強会を実施し職員の介護力をつける

【実践計画】

- ① 感染症対策を徹底し、災害発生時にも事業運営を継続できる体制を作る
 - ・ 基本的な感染症対策を継続、感染予防により制限されすぎない日常生活の継続支援
 - ・ 感染症罹患者の早期発見を行い、疑感染時には適切かつ迅速な感染症対策を行う
 - ・ 感染状況の情報収集に努め、自施設に感染症を持ち込まないようにする
 - ・ 災害発生時の避難導線障害に注意し、日頃から避難訓練を実施し有事に備える
- ② ヒヤリハットの積み重ねにより事故の予見を行い、事故数の低減を目指す
 - ・ 事故・ヒヤリハットを考察し、同様の事故発生防止に活かす
 - ・ リアルタイムでの情報共有を行うため、職員同士のコミュニケーションを密に行う
- ③ 個々のニーズにあうプログラムを提供し、ご利用者の心身機能の向上に努める
 - ・ ご利用者が選択できる機能訓練やプログラムを充実させる
 - 昭和あそび：コマ回し、メンコ、あやとり、お手玉等昔遊んでいた遊びを通し、手指の巧緻性を高め、思い出ばなし(回想)を通して、認知機能低下を予防する
 - ボードゲーム：人生ゲーム、オセロ、将棋等少人数で取り組むものと絵合わせ等一人で取り組むものを提供し、余暇の時間を使って脳トレを実施する
 - コグニサイズ：現在の機能訓練に加え、頭と体を同時に動かすトレーニングを行い、身体機能の向上と共に認知機能低下を予防する
 - ・ 活動内容を毎月検討し、ご利用者を飽きさせないよう、常に新しい取り組みを行う
 - ・ 余暇時間の有意性を図り、ご利用者が自主的に脳トレに取り組める環境を作る
 - ・ 外出行事の企画やボランティアの活用など、非日常を楽しんで頂く
- ④ 稼働率 77.0%以上を目指す
 - ・ ご利用者、ご利用者家族と気兼ねなく相談や提案ができるよう信頼関係を構築する
 - ・ ケアマネジャーが知りたい情報を的確に報告し、情報共有から信頼関係の構築する
 - ・ 体験利用者には、『体験時のご様子』及びチラシ確実に配布し新規契約に繋げる
- ⑤ 職員の介護福祉士取得を推奨すると共に勉強会を実施し職員の介護力をつける
 - ・ 3大介護の技術を勉強会で学び、一定レベルまで引き上げ、日常のケアで実践する
 - ・ ご利用者を多角的に見て、必要なケアを判断できる職員を育成する
 - ・ 適切な接遇を実践し、安心して任せられるデイサービスを目指す
 - ・ 職員の介護福祉士取得を推進し、サービス提供体制強化加算Ⅲの取得を目指す

○稼働向上取組

- ・ 月2回程度の営業機会を担保し、外部との連携強化に努める